

2011 年

4 月 1 日（金曜日） 夢、希望、ロマンと不屈の闘志を学ぶ - マルハンカップ少年野球懇談会 -

本日、明日に予定されるマルハンカップ少年野球大会に先立ち、遠路、マルハンの韓裕社長、藤原専務にもご臨席いただき、大会に参加される市内・丹後地域の少年野球関係の皆さんと懇談会が開催されました。韓社長には、まずもって、「お帰りなさい」と申し上げます。故郷へのお帰り、地元として心から歓迎する次第です。

ご案内のとおり、マルハンさんは、昭和 32 年に峰山町にお店を出されて以来、発展を重ねられ、今や、我が国パチンコ業界のリーディング企業となられたわけですが、本市にも、球場建設や行事等支援をはじめこの間様々なご支援を賜り、心からの感謝とともに、ますますのご発展をご祈念申し上げます。

ご創業者の韓昌裕会長は、若い頃、お母さんからの二升の米と英和辞典、体一つの裸一貫で荒海の中へと漕ぎ出され、ただ一つ「夢、希望、ロマン、不屈の闘志とあきらめないチャレンジスピリット」を座右に置かれ苦難も糧に社員を家族とされて、今日の素晴らしい発展を築かれた、とお伺いします。私たちは、今、地域の厳しい状況を前に、「夢、希望、ロマン、不屈」の精神を大いに学び、私たち自らの力にしていけることが課題解決と前進の上で欠かせません。マルハンカップ少年野球大会はトーナメント方式の大会、優勝チーム以外は試合に負けて大会を終えます。大半は、負けた悔しさや反省がバネになり、負けて上がる、負けて前に進む、そんな不屈の精神を学ぶ場でもあります。

韓社長は、高校時代、夏の全国選手権大会で全国準優勝されたチームで活躍されたメンバー。当時の地元のスポーツヒーロー。準優勝の自信と、負けて終わったことからのバネが、分野は違えども、この間の真剣・真摯なご努力の積み重ねとともに今のご発展への大きな糧になっておられるのかもしれませんが（勝手な踏み込みをして失礼があればご容赦ください。また、もちろん、優勝チームの方々も勝って兜の緒を締め、得がたい自信を糧にされますます社会で活躍されておられると思います。）。私も、大学生時代、野球をさせていただいて、現役として最後の打席で対戦したピッチャーは、韓社長の高校チームメートの主戦ピッチャーの方で、あえなくファールフライで終わりましたが、何か不思議なご縁を感じていました。

本市は、マルハンさんのご創業の地。この貴重なご縁を今後とも大切に、心から感謝をしながら、我々も、夢や希望、ロマン、あきらめない精神を把持して、まちの末永い発展と住民の皆さんの益々の繁栄へと着実に歩みを進めていきたいと思ひます。